



はくび通信 2015年 12月号



お釈迦様 仏教の開祖

お釈迦様の生涯

お

釈迦様は今から、二千五百年ほど昔、ネパールの南部、インドとの国境近くにあったシャカ国の王家に誕生されました。母親のマーヤー妃は出産後まもなくお亡くなりになり、お釈迦様は養母に育てられました。父親のストドーダナ王は母親を亡くした息子に不自由な暮らしをさせないよう、またいつか王位についてほしいとの考えから、お城の恵まれた環境でお釈迦様を生活させることに力を注ぎました。

何不自由ない生活を送る中、お釈迦様は街に出掛けられました。街には沢山人がいる中で、城の中では見たことの無い様なとても老いぼれた老人を目にしました。次に病に身を侵された病人、その次には死人を次々に目の当たりにし、大層シヨックを受けてしまいました。ところが最後に、落ち着いて清らかな歩みを進める修行僧の姿を目にし、お釈迦様の気持ちは安らぎました。そして、いつか自らも出家しようと思いに決めたといわれています。

その後、お釈迦様は結婚もし、子供ももうけましたが、様々な人生の問題に苦悩し、二十九歳の誕生日の夜にこっそり城を抜け出しました。王子の地位や家族を捨て、修行の道に入る決意をしたのです。そして、城に戻ることはなく、修行を重ね、ついに三十五歳の時に悟りを

開き、「ブッダ」目覚めた人」となれたのです。

お釈迦様は八十歳で入滅するまで、四十五年間、休むことなく旅をして布教だけのため、に過ぎませんでした。そのお釈迦様のお導きによって多くの修行者が悟りを開き教えを広めていきました。

お釈迦様を救った

スジャータ

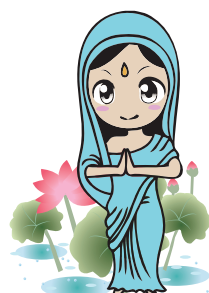
一 十九歳で出家生活を始めたお釈迦様は「悟り」を得る為、当時インド修行会で流行していた「苦行」に取り組み始めます。

この苦行とは、何日も断食したり、時には逆立ちしながら睡眠をとらないで瞑想するなど、体に不快な刺激を延々と与えるという修行でした。いくら修行を続けても「心が苦しまなくなる」という境地に辿り着けなかったお釈迦様は、ついには骨と皮だけになるほど痩せ衰え、死の直前まで自分を追い詰



め倒れてしまいました。それを見た村娘のスジャータは乳粥を飲ませ介抱し、お釈迦様は徐々に体力を取り戻しました。その後、心身ともに穏やかな状態で菩提樹の下で坐禅をし、自分自身の心と体を観察し続け、お釈迦様は悟りを開かれました。

万松寺では、お釈迦様が悟りを開ききっかけとなったこの村娘の名前にちなみ「スジャータまつり」というタイトルで仏教行事の幅を越えた地域の祭りを開催しています。



釈尊おさとの日

スジャータまつり

12.6 SUN. 日 時間 10:00 ~ 16:00 場所 万松寺・大須商店街

よいやま ★宵山(前夜祭)12/5(土) 18:00~★

HP <http://banshoji.or.jp/sujata2015/> WEBでプレゼントが当たるクイズもあるよ!

TEL 052-262-0735(万松寺)



ゆく年くる年

■除夜の鐘

大

晦日に全国各地の寺院では「除夜の鐘」が鳴り響きます。二〇八回つく

その回数には諸説ありますが、一説には二〇八あるとされる人の煩惱を祓うためと言われています。煩惱とは人の心を惑わせたり、悩ませたりする苦の原因の事をいいます。

人間には眼・耳・鼻・舌・身・意の六つの煩惱があります。

それぞれに好(よい)・悪(わるい)・平(どちらでもない)の三つの状態があり、さらに浄(清い)・染(汚い)の二つの状態があります。最後に前世・今世・来世の三世に配当して、これらをかけ合わせた二〇八が人間の煩惱の数を表すと言われているといます。

他にも、一年の月と節季と候(二ヶ月十二四節氣十七二候・二〇八)の総数とする説や、四苦八苦を取り祓う(四×九十八×九二〇八)とする説などもあります。

$$6 \times 3 \times 2 \times 3 = 108$$

(六根) (三不同) (洗淨) (三世)



◆万松寺本堂屋上にある鐘。名前を大梵鐘といい、大晦日には信者さんらが名古屋の夜景を楽しみながら除夜の鐘を鳴らします。

■師走

年間の締めくくりの月十二月。陰暦で呼ばれる「師走」は、とある僧侶のお師匠様がお経をあげる為に東へ西へとを馳せた月だったことを示した「師馳す」の当て字からきているものだと言われています。

師走には一年間無事に過ごせたことに感謝し、住居を掃除する大掃除を行います。掃除をすることによって、家中が清められます。



又、お墓や仏壇も一年間見守ってくださったご先祖様に感謝をして、すすを掃います。掃除が終わったら、お鏡様(お餅)やしめ縄を飾って、新しい年を迎える準備をしましょう。

年末年始スケジュール

12/6(日) | スジャータまつり | 10:00~16:00

12/16(水) | 秋葉大祭 | 18:00~

12/31(木) | 除夜法会 | 23:00~

1/1(金) | 初詣大般若会 | 10:00~16:00
1/2(土)

1/5(火) | 初稲荷大祭 | 11:00~14:00

2/3(水) | 節分会 | 12:00~17:00

毎

お正月の準備が始まりました

年、お正月には初詣で沢山の参拝者様が万松寺へお越しになります。正月の縁起物・破魔矢をお買い求めになったり、年の初めですのでお守りを買って替える方も多くいらつしやいます。

万松寺では十月の末頃から、新年の参拝者様をお迎えする準備が始まりました。破魔矢や御守は一つ一つ僧侶が手作業で作っています。この後、願目ごとに御祈祷をして、皆様のお手元に届くことになります。

来年の絵馬です



◆来年の干支である申(さる)がデザインされた絵馬。画像はイメージです。



◆木札は僧侶が一つ一つ丁寧に御守袋に入れていきます。



御守の他に、平成二十八年度の千支・申の絵馬も新しく作成しております。是非新年の初詣は万松寺へお越しくださいませ。